

発言の自由

高三

たくさんの人の意見や情報が飛び交うインターネットにつながる道具を、私たちは常に持ち歩いています。日々、私たちはインターネット上で、日常のことを話したり、写真や動画を載せたりしています。また他の人が載せたそれを見ることができません。しかし、そのような日常的な利用の中で私たちは、発言の自由について考えて使っているでしょうか。

最近、インターネット上で起きた事件や問題がニュースで取り上げられているのをよく目にするようになりました。なぜそうなってしまったているのか、原因はインターネット上では自由に発言ができるからだと考えました。

例えば、有名人が差別的な表現を含む文章を投稿するとします。するとその人に対して一方的に暴言を吐いた投稿が増えることが予想されます。さらには部外者同士での意見の対立が起こる場合もあるでしょう。もしインターネット上に発言の

自由がなかったら、差別的な表現も誰かに対する暴言も発信することはできません。そのため、それが理由で小さな争いが起きることもなくなるでしょう。

しかし、よいことばかりではありません。発言の自由がなくなるといことは、自分の言葉で自分の意見を誰かに伝えることができなくなるというところで、逆に誰かの意見を聞いたり見たりして、刺激を受けるような体験もできません。インターネットのよさは、身近にあり、気軽に発信できるところにあります。故に例に挙げたようなことが起きてしまいます。

ではどうすれば発言の自由を獲得しつつ、より心地よくインターネットを利用することができるのでしょうか。

私は一人一人の自制心と想像力をセットで働かせていくとよいと考えました。投稿をするとき、これを見て誰かが傷付かないか、不快な気持ちにならないか想像し、少しでもよくないかもしれないと思ったら表現を変えるべきだと思います。逆に自分が誰かの投稿を見るときも、いやな気持ちになるものがあつたら、それを相手に伝えるべき

です。インターネットは画面上でのやりとりになってしまふので、思い込みや勘違いをしやすくなります。さらに不特定多数の人が見るといふことは、その数だけ意見が存在すると認識していないと、ちよつとした意見の違いに感情的になりやすくなります。もし何か嫌なことを言われたり見たりしてしまつても、「この人は強い言い方になっているけど、本当は違う気持ちでいるのかもしれない。それを私が気にすることではない。」という思考ができれば、争うこともないし自分が傷付くこともなくなります。

ニコラス・G・カーさんの『ネット・バカインターネットがわたしたちの脳にしていること』という本にはこう書いてあります。「近代科学の産物は、それ自体よいものでも悪いものでもありません。それらの価値を決定するのは、使用方法なのです。」この言葉の通りだとわたしは思いました。世界中の人々がもっと考え、人のためにも自分のためにもなるようにインターネットを利用していけば、インターネットを通して言葉はすばらしいものへ変わっていくと思います。せっかく世界中の人とつながることができれば、楽しく使

たいと思いませんか。自分の意見を強くもち、相手を思いやつて、インターネットを利用することが大切です。

これからインターネットによる事件やトラブルが減つて、多くの人が自由に発言し、インターネットを楽しいと思える世の中になっていくことを願います。そのために、一人一人が発言の自由について意識を変えていく必要があると私は思います。